



道新青葉中央販売所だより

発行元：(株)道新販売センター 青葉中央販売所

〒004-0021 厚別区青葉町6丁目1-33 ☎0120-881-365 FAX891-3486

営業時間 平日：9時～20時 日祭日：9時～12時

2019/ 7/5
金曜日

厚別アウ歩き

#22 小野幌⑧ 厚別東地区に残る煉瓦の倉庫

前号まで、かつての小野幌地区に見られる変形交差点を4か所取り上げ、なぜ、どのように変形になったか、原因を探ってきました。うち3か所から見えてきたのは、明治以降の開拓と昭和30～40年代の現代的な開発のせめぎあいです。もう1か所は、開拓における村と村の境目の痕跡でした。これらは小野幌が厚別東、厚別北へと変貌する過程で残した歴史の“継ぎ目”といえるかもしれません。私たちの住む厚別区は郊外の比較的新しい住宅地という印象がありますが、過去から現在への“継ぎ目”は消し去りがたいものです。

本連載#17(本年2/5号)で「小野幌線」という古くからの道路を紹介しました。そのとき載せた古い空中写真を、もう一度お見せします(図1)。現在の厚別東地区を1961(昭和36)年に撮ったものです。2/5号で、小野幌線に沿っている畑(赤矢印の先)が何の畑だったか、お尋ねしました。答えを言う前に、もう一枚写真を見てみましょう(図2)。この畑があったところに現在も残る倉庫です。畑で収穫された農産物が倉庫に貯蔵されました。何が貯蔵されたのでしょうか。答えはリンゴです。図1の空中写真で等間隔に白っぽくポツポツと写っているのはリンゴの樹形だったのです。

リンゴは、この地にお住まいのSさんの先代が昭和初期、栽培を始めました。リンゴを育てるには、樹の剪定や防虫、袋掛けなど手間がかかります。Sさんの先代は“先進地”平岸の農家に行って、研究したそうです。厚別東地区のこのあたりは野津幌川と小野津幌川に囲まれ

た尾根筋に当たり、小高くなっています。土地の地形的な条件が果樹栽培を促したのかもしれませんが。ところで、Sさん宅の元リンゴ倉庫は、煉瓦の積み方が少し変わっています。煉瓦は一般的に、直方体のもっとも広い面(「ひら面」という)を地面に対して水平に積みます。そのほうが安定するからです。しかし、この倉庫は「ひら面」を垂直に立てています(図3)。なぜこのような積み方をしたのでしょうか。
(地域史研究者 杉浦正人)

参考文献：『小野幌開基百年』1988年、p.p.73-75

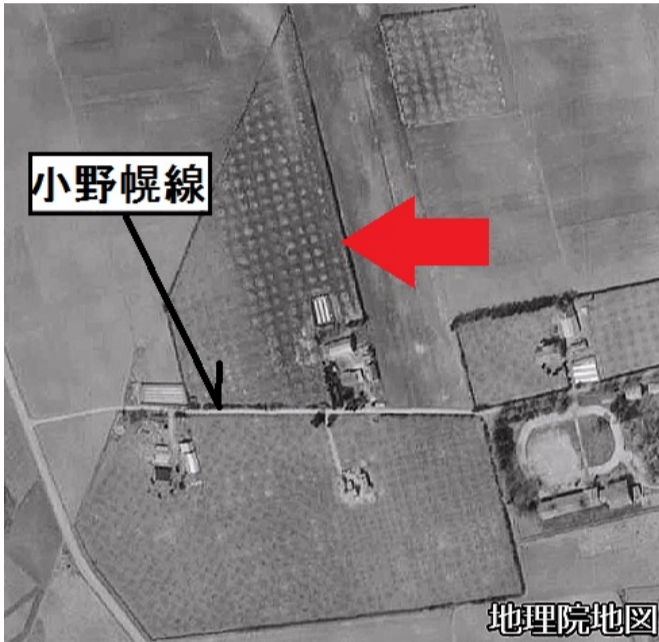


図1：1961(昭和36)年空中写真(国土地理院サイトから)



図2：厚別東・Sさん宅の煉瓦造倉庫



図3：Sさん宅の倉庫 煉瓦の積み方

u h b (8 c h)「みんなテレ」(15:50-)“となりのレトロ”(札幌及び近郊の街の歴史を訪ねるコーナー)で、連載執筆者の杉浦が案内役を務めています。ご覧ください(毎月2回、隔週月曜予定)。

北海道新聞青葉中央販売所は献血活動を応援しています

命を救うボランティア献血バスへ行こう!



☆みなさまの血液は、誰かのいのちにつながります☆

毎月、ご近所に献血バスがやってきます



献血状況	～献血バス運行スケジュール～	
A型とO型とAB型が不足し困っています!	7月17日(水) 12:15～17:00	北星学園大学 大谷地西2丁目3-1
	7月18日(木) 12:30～13:15	新さっぽろ年金事務所 厚別中央2条6丁目4-30

新さっぽろ献血ルームご案内

厚別中央2-5 Duo(デュオ)1地下1階

【献血受付時間】①10:00～13:00 ②14:00～18:00

休憩スペースにはパンやクッキー、お菓子などをご用意。キッズスペースも充実!安心して献血できます。

※①北海道赤十字血液センターHPより転載 ※②献血バスの運行予定は、変更になる場合がございますので、直近の予定は北海道赤十字血液センターHPにて必ずご確認ください。
<https://www.bs.jrc.or.jp/hkd/hokkaido/>